

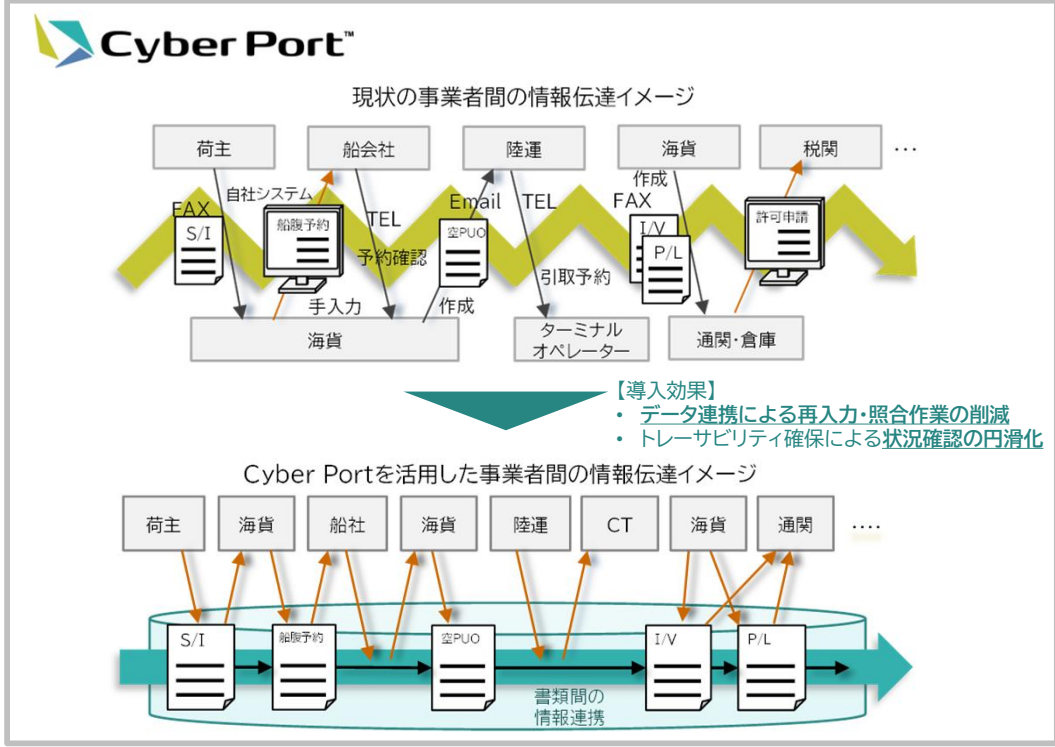
九州初！サイバーポートに関する現地説明会を志布志港で開催！

～民間事業者間の港湾物流手続の電子化による業務の効率化や生産性向上に向けて～

- 民間事業者間のコンテナ物流手続は、一部の業務では電子化が進んでいるものの、メール添付や紙・電話等の割合が高く、全体で見ると電子化が進んでいない状況にあります。このような中、国土交通省では民間事業者間の物流手続を電子化・共通化することで業務を効率化し、生産性向上を実現するデータプラットフォームとして、“サイバーポート”を運用しています。
- このたび、志布志港において、九州初となる「サイバーポートに関する現地説明会」を令和7年6月23日に開催し、志布志港でコンテナ物流に携わる民間事業者等9団体24名にご参加頂き、サイバーポートの操作を体験してもらいました。



説明会の様子



サイバーポートを活用した輸出業務のデモンストレーションの様子



サイバーポート体験後の意見交換の様子